

ゲーテの会

日本の未来を拓くよすが（拠）を求めて
-日本の近代化を導いた人々の思想と行動、その光と影を追う-

「西の文化」の彼方に「東の文化」を構想した人物
(Part I 思想・文学分野)

森鷗外と日本の個人主義

講師：高橋 義人 先生

【講演要旨】

森鷗外は生前から「日本のゲーテ」と呼ばれてきた。たしかに「全人」的活動をした点で、鷗外はゲーテにもファウストにも似ている。しかし鷗外はファウスト的な「自己形成」を手放して賞賛することは出来なかった。

ドイツに留学した鷗外は、西欧風の個人主義に辟易した。かといって藩医の出身だった鷗外は、武士のなかにも一種の個人主義があると考えざるを得なかった。そこで彼は「個人主義と万有主義」「世間的自己と出世間的自己」「利己的個人主義と利他的個人主義」等々の言い方で、真のあるいは日本的な個人主義を模索し続けた。

そうして模索していた時、友人だった乃木大将の殉死事件が起きた。殉死は西欧的な見方からすれば「非個人主義的」である。しかし殉死は日本的な個人主義ではないかと考えた鷗外は、『興津弥五右衛門の遺書』や『阿部一族』を書き、前者では殉死を肯定し、後者ではそれを否定した。

そうした模索の最後に鷗外が辿りついたのが、最晩年の史伝三部作『澁江抽齋』『伊澤蘭軒』『北条露亭』だった。ここには「無私の個人主義」とでもいふべき境目が切り開かれていることを論じる。

【講師略歴】

1945年栃木県生まれ。京都大学名誉教授、平安女学院大学教授。国際ゲーテ協会元理事、国際異文化交流独文学会前副会長。主著に『形態と象徴』（岩波書店）、『ドイツ人のこころ』（岩波新書）、『魔女とヨーロッパ』（岩波書店）、『グノーシス 異端と近代』（共著、岩波書店）、『グリム童話の世界』（岩波新書）、『10代のための古典名句名言』（共著、岩波ジュニア文庫）、ゲーテ『色彩論 完訳版』（共訳、工作舎）などがある。

日時： 2015年 11月27日（金）18:00～20:30

会場： 公益財団法人国際高等研究所

参加費： 2,000円（交流・懇談会費用を含む）

定員： 40名（申し込みが定員を超えた場合は抽選）

申込： 「参加申込書」（裏面）によりお願いいたします

詳細： <http://www.iias.or.jp/public/goethe.html>

しめきり

11月17日(火)

必着



参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9 丁目 3 番地

公益財団法人国際高等研究所 事業部

けいはんな「ゲーテの会」事務局 (担当：竹島)

E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

第 29 回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2015 年 11 月 27 日 (金) 開催		
お名前		
ご所属		
部 署		
役 職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX :
	E-mail	

■ 会場案内

